

しんらん同人



「因と縁」

結果を生ずる直接的原因を因といい、因を助ける間接的原因(条件)を縁といいます。

私達の周りにはテレビやラジオ、携帯電話、カーナビ等々様々な電波・情報が飛び交っていますが、それぞれに対応したアンテナが無ければ、必要な情報を得ることが出来ません。

私達は日常生活で色々な「縁」に触れて

います、触れているはずです。しかし、聞き分けている人が無ければ、馬耳東風でしょう。

昭和二十六年に千葉県千葉市検見川の東

京大学検見川農場内の落合遺跡の発掘で、

ます。

コロナ禍の中でも、アンテナを磨き、充実した自分らしい豊かな人生を過ごすことは出来ま



われもひかりのうちにあり

誓願寺住職 古賀尚之

自肅と巢籠で迎える新年ですが、朝が来ない夜はありません。

新しい一年が、皆様の豊かな人生の一ページとなりますことを念じております。

ほのぼのカレンダーの三月の言葉は「聞こえないと心がなかつたら、聞いても聞こえない」です。

微小な種が二千年もの時空を超えて発見さ

れたこと。大賀博士に出会つたこと等を経て結果を生むことが出来ました。

さまざまな種・因・縁はそのままでは結果を生むことは出来ません。自分自身の努力と周りの方々の尽力を得て花を咲かせることが出来るのであります。

No.560
1・2
月号

浄土真宗本願寺派 誓願寺

〒171-0052 東京都豊島区南長崎1-3-8

【電話】03-3950-7828 【ホームページ】<http://www.seiganji-tokyo.jp/>

順縁と逆縁

仏法を聞く身となるには、色々な縁があります。厚信の家庭に生まれ、幼児のころから仏法の中で育てられて、何の抵抗もなく仏法を喜んでいる人があります。それは順境の中で仏法を聞くようになつたもので、これを順縁といいます。

親子兄弟など愛する者と別れた悲しみや、大病にかかるとか、事業に失敗するなど。こんな逆境を縁として仏法を聞くようになることがあります。これを逆縁といいます。

順縁・逆縁というのは、順境・逆境をいうのではなくて、それを縁として仏法を聞くようになった時に、順縁・逆縁と言われる所以であります。

順境の中においても仏法を聞けない人もあるし、逆境に立たされても仏法を聞けない人もあります。

愛する者を亡くし、涙の中に葬式を済ませ、ご法事もつとめた。その頃ご法話も何度か聞いた。心休まる思いであった。それから二年、三年と経つうちに、悲しみもようやく薄らぎ、あの時は痛いほど無常を知らされながら、今はケロツとしている。ご法事だけは勤めるけれどもさっぱり仏法を聞くことしない。残念な

がらこんな人が多いのです。

順縁を思うと、小さい時のお育てが、いかに大切であるかを思われられます。紅葉のような可愛らしい手を合わせて仏前に礼拝する。意味が分かるはずはないけれども、大きな声でお念佛をする。食事の時は「いただきます。」「ごちそうさま」と合掌する。

お寺のご法要の時は一緒に参りする。こうしたことがお育てであります。「仏法は毛穴から入る」と言われております。法の水に浸されていると、いつしか法が身についてくるようです。

順境にあることは幸せなことであります。しかし、順境にある

ということは、人生に驚きを感じることなく、自分を見つめることが少なくつい思いあがつた生活になりがちです。

私達は、何か悲しいこと、苦しいことにあわなければ、なかなか思い上がりが破られることがありませんし、眞実に眼が開かれないようになります。眞実に眼が開かれないならば、順境が果たして幸せかどうか問題であります。

愛する人を失うことは本当に辛いことあります。しかし、身につまされる、この悲しみに会ってはじめて、無常の世界、愛別離苦の世界を深く身に感ずることが出来るのです。



人間が死ぬのは当たり前だと誰でも思っています。

しかし、本当にわが身の上にくるとは感じていません。死がいかな
るものか本当に分かつていません。

もし癌だと宣告されると、誰でも驚き慌てるようです。それは
他人の死ではなく自分自身の死を感じるからです。死の不安、
恐れ、どうしても逃げることのできない苦境、そんな目に遭うと
何か力となるものが欲しくなります。自分の無力を感じる時、大
いなるものを求める心が起ころる場合があります。

眞実に生き抜く道は仏法よりほかにはありません。如来の本
願力にお任せする心境になれば、大安尉をうるのあります。
本願を信ずる身となれば、この度の病こそ、この私に眞実の眼を開かせて下さる、尊い縁であつたと味あわれるようになるのであ
ります。

一般に、順縁によつて仏法を聞くことは少ないようです。むしろ逆縁にあつて聞くようになる人が多いようです。しかし、順縁にせよ逆縁にせよ、煩惱に満たされているこの私が、本願を信じ念仏申す身になることは、全く不思議な阿弥陀様のおはからいによるものであります。

「法味抄」より

「法味抄」は、故岡本泰雄が真宗聖教中から要文を抜き出し、意訳した冊子です。聖語末の（）内の文字は聖教の書名を略記したものです。

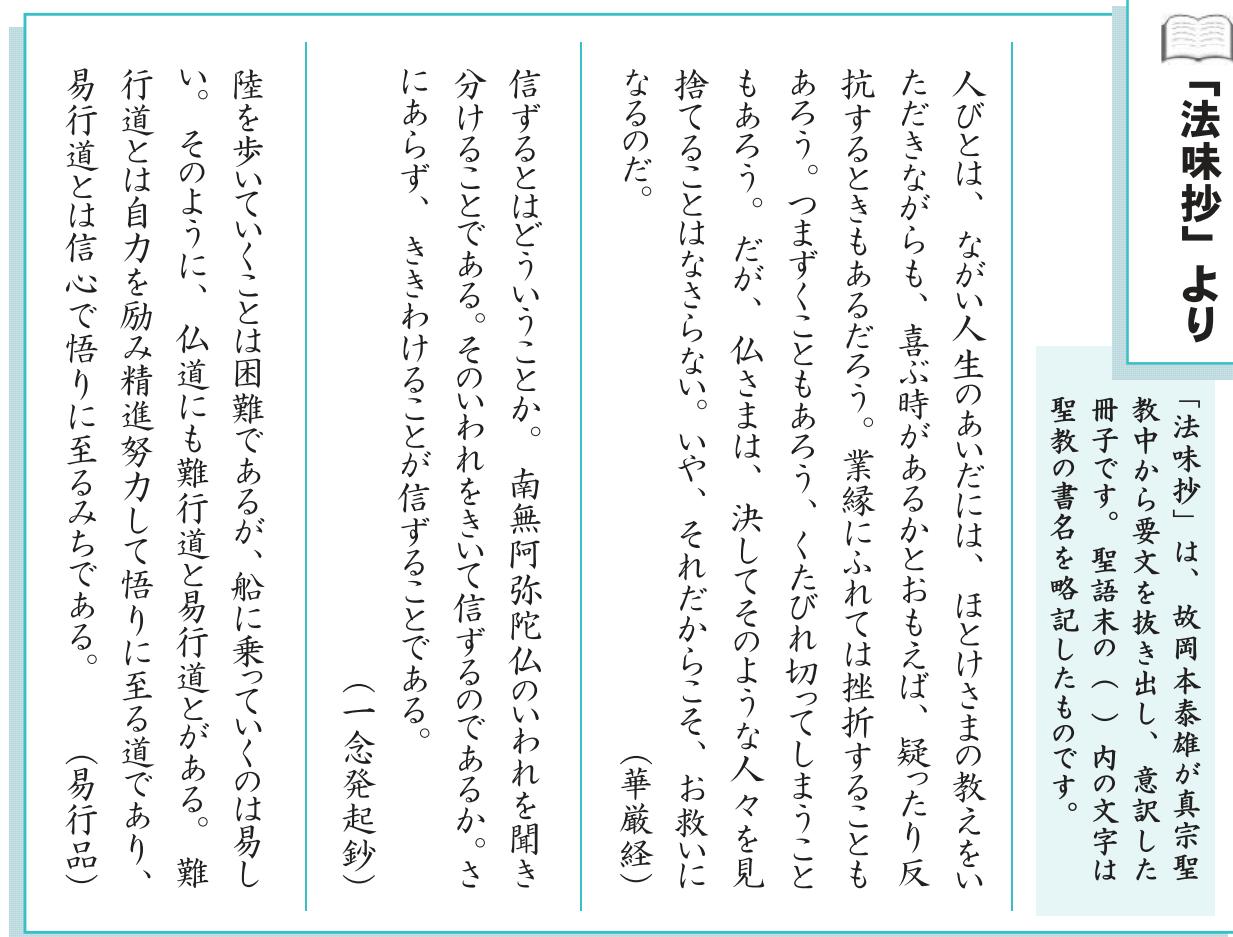
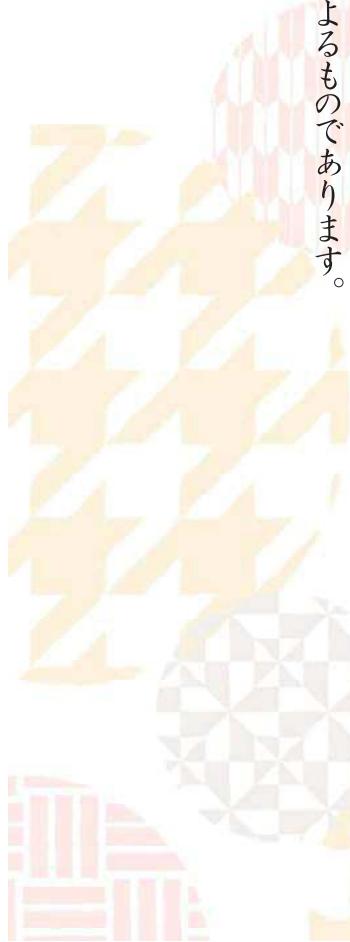
人びとは、ながい人生のあいだには、ほだけさまの教えをいただきながらも、喜ぶ時があるかとおもえば、疑つたり反抗するときもあるだろう。業縁にふれては挫折することもある。つまづくこともあります。くたびれ切つてしまふこともあります。だが、仏さまは、決してそのような人々を見捨てるとはなきらない。いや、それだからこそ、お救いになるのだ。

（華厳經）

信ずるはどういうことか。南無阿弥陀仏のいわれを聞き分けることである。そのいわれをきいて信ずるのであるか。さにあらず、ききわかることが信ずることである。

（一念発起鈔）

陸を歩いていくことは困難であるが、船に乗つていくのは易しい。そのように、仏道にも難行道と易行道とがある。難行道とは自力を励み精進努力して悟りに至る道であり、易行道とは信心で悟りに至るみちである。（易行品）



ご法座等
のご案内

誓願寺では本年も、定例法座を「第二日曜日 午前十時から」と、「第四日曜日 午後一時から」開催いたします。

なお、コロナ感染の状況により変更することもあります。「 shinran 同人」 「ホームページ」 等でご確認ください。

1月 2月

1・1
(金)

午前十時
午後一時
元旦会

1・10
(日)

午前十時

定例法座(上野隆平師)
正午
医療相談(佐藤公彦医師)

2・14
(日)

午前十時
定例法座

正午
医療相談(佐藤公彦医師)

1・24
(日)

午後一時

定例法座 祥月命日合同法要

2・21
(日)

午前十時
正午

なかよしクラブ
(乳幼児から小学生まで)

【三原信隆師】

定例法座 祥月命日合同法要

【大野孝顕師】

定例法座 祥月命日合同法要

編集後記

昨年末に「前立腺がん

「心臓の冠動脈狭窄の
疑いで二度短期間の
検査入院を致しました。
結果は「いずれも

当面は大丈夫」との診断をいただき一安心です。

結果が出るまでは、家族やお同行の皆様に少し優しくなた思ですが、また元気自分に戻ったようです。こんな住職ですが今後ともよろしくお願ひいたします。

今年の来寺記念品は
マグカップです。例年の
ように「われもひかり
のうちにあり」と
いう文字が入っています。



[マグカップ(表)]
柄は全部で4種類。
どれになるかはお楽しみに。



[マグカップ(裏)]
裏に文字が入っています。

